

広報

第889号

いながわ

9月

平成25年



川遊びを楽しむ子ども達(ふるさと館近くの猪名川)

特集 9月1日は防災の日 災害に備える!

「住みやすい町」となるように

～子ども議員たちの熱いまなざし～ ● 5

申し込んでいない商品の強引な送り付けに注意! ● 19

いなが♥輪 川辺バレーボールクラブ
若葉熟年クラブ ● 22

瞬(ときめき) 鶴田 和平さん ● 26

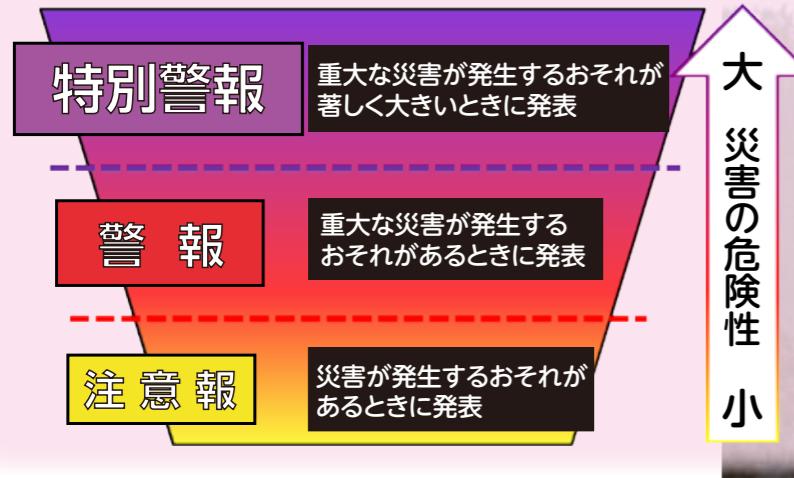
私のオススメ★ 彫刻の道から善福寺へ ● 27

特派員報告 スポーツセンターを利用してみましょう! ● 28



秋の知らせ(大野山でススキ開花)

8月30日 特別警報の運用開始



地震時の行動について

- ①揺れを感じたら机の下などへもぐり、頭を守る。倒れてくる家具や落下物に注意。
- ②揺れがおさまったら、火を消し、ガスの元栓を閉め、ドアや窓を開けて逃げ道を確保。
- ③家族の安全を確認し、懐中電灯や携帯ラジオなどの非常持出品を用意し、ガラス破片の散乱に注意して、靴を履く。
- ④余震に注意し、一時避難地や避難所に避難（避難所まで徒歩で行ける場合、車はできるだけ利用しない）。



場所別の身の守り方のポイント

- 集合住宅では、エレベーターは使わない。
- 住宅街やビル街では、ブロック塀や門柱から離れ、屋根や看板などの落下に注意し、手荷物などで頭を守り、広場などへ避難する。
- 車の運転中は、急ブレーキをせずにゆっくりスピードを落とし、道路の左側に停車し、揺れがおさまるまで車外に出ない。



笛尾地区の猪名川
(平成16年台風第23号 10月20日撮影)

洪水からの避難のポイント

- はき物はひもで締められる運動靴が好ましい。
- 水面下にはマンホールや側溝などがあるため、長い棒などを杖代わりにして、安全を確認しながら歩く。
- 水深が50cmを上回る場合は危険。流れが速いと20cmの水深でも歩けないことがある。

風水害時の行動について

- ▼危険が迫る前の早めの避難が必要。ただし、夜間や激しい降雨などの危険な状況の中での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考える。
- ▼指定された避難所への移動だけでなく、自宅や近隣建物の2階以上の高い所へ移動した方が安全な場合もある。



▽連絡先 危機管理室 (0766-8703)

町では、大規模災害などに備えるため、猪名川町地域防災計画を策定し、今年度は防災マップの改訂など、住民の皆さんの生命、身体、財産を守るために取り組みを行っています。また、災害などの緊急情報を知らせる「いなぼうネット」をはじめ、フェイスブックでの情報発信や、一部公共施設への公衆無線LANの設置など、情報伝達ごとに説明会を実施し、説明会で得られた地域の皆さんの意見を反映させた防災施策の展開に心がけています。今年度は、今後の町防災事業について、まちづくり協議会ごとに説明会などを、防災への取り組みを行う上で非常に重要な要素となりますので、ご意見をお寄せください。

9月1日は防災の日



防災への取り組み



子ども議会を終えて…

子ども議会は、子ども達が普段から感じていることを言える場所として、また、町づくりについて考えるきっかけや、議会の仕組みについても少しでも知っていただく

ために開催しています。
未来の猪名川町の実現には、子ども達の力が必要です。今回、議場で意見を述べた子ども達や引率教諭の感想を紹介します。

《議員（小学生）》 他の学校の子たちが、しっかりとし
た質問をしていて、中には自分たちが思いつかないよう
なこともあって、すごいなって感じたし、いろんな意見
を聞いて、勉強になつた。

《議員（小学生）》 今回の質問の答弁で、少し地域のこ
とがわかった。これからは、もっと地域にも関わってい
きたい。

《議員（小学生）》 緊張したけど来てよかったです、樂
しかつたー。ありがとうございました。

《引率教諭》 厳粛な雰囲気を経験する機会の少ない子
ども達に、議場に入らせていただくことも、本会議と同
じような議事進行も大変良い経験となりました。

子ども達の提案の中から、実際に施策として進めてい
ただけることがあれば、将来の猪名川町について子ども
達の夢も大きく膨らむものと思います。

多くの方々が関わって、町政が進んでいくのだとこう
ことを、子ども達も感じたようです。

►問合せ 秘書広報室（☎ 766-8707）

2013 救急フェア

～皆さんのおかげで、勇気ある行動を～

9月9日は『救急の日』、9月8～14日は『救急医療週間』です。消防本部ではこの週間にあわせて、住民の皆さんに救急医療や応急手当の正しい知識を覚えていただき、一人でも多くの命が「皆さんの勇気ある行動」で救えることを理解していただくために『救急フェア』を開催します。

▷とき 9月8日(日)午前10時30分
～午後2時30分
▷ところ イオンモール猪名川3階フード

コート前および3階西側駐車場

▷ 内容 心肺蘇生法・AED体験・救急アドバイザーによる救急なんでも相談・救急車の展示・救急クイズコーナーなど

▷ 問合せ 消防本部救急0119)



未来の猪名川町はあいさつであふれている町
<猪名川小学校>

【議員】 猪名川町はあいさつの得意な町だと思っていきます。あいさつをされると、嬉しく思いませんか？もしもあいさつをしてくれる人がいたら、自分もうれしい気分になるし「次は自分からしてみよう」と思うかもしれません。あいさつをしていやなことはないと思います。未来の猪名川町は「あいさつであふれている町」になればいいと思います。

【総務部長】 あいさつされるとお互いにうれしい気持ちになりますが、地域での人と人

できる環境づくりができるよう、「あいさつと 笑顔あふれる 猪名の里」を合言葉に、「い・な・スマイル あいさつ運動」を推進しています。

皆さんも家庭や学校、地域で、そして、大人も子どももあいさつ運動を継続し、その輪を広げていきましょう。

社会見学や体験活動をたくさん積み重ねて、私たちの学習が広く確かなものになるために、いつでも利用できる校外学習用のバスがほしい。〈提携小学校〉

くる場で学習できるよう、各校には無理でも、町内の小中学校が、見学や学習で必要な時に利用できるバスがあればいいと思っています。

頼むことやバス利用の補助についても同様に、高額となります。

しかし、皆さんの学習意欲を受けとめ、体験學習の機会を一回でも多くつくれるよう、例えば幼稚園バスの空き時間の利用など校外活動ができる工夫をするなど、町としても支援を続けていきたいと思います。



そのやま はるな
園山 春名議員



うえの かいち
上野 夏旦議員

安全な自転車通学 <猪名川中学校>

議員 今、私のこの質問に対する答弁を聽いて、猪名川中学校の生徒の3分の1が自転車通学ですが、自転車の数だけの道路が確保できておらず、最近は自転車事故が多発し、重傷者も出てきました。

【議員】 今の猪名川中学校の生徒の3分の1が自転車通学ですが、自転車の数だけの道路が確保できており、最近は自転車事故が多く発し、重傷者も出てきました。

今、私たちの学校では、保護者や先生方が立ち番をしてくれていますが、それでも事故が起きていました。ですから「自転車専用道路」をつければ接触事故が減ると思います。

【まちづくり部長】 自転車の事故は全国的に増えており、特に歩行者との接触事故が増えていました。歩道や車道とは別に「自転車専用

用ロード」を整備するといったことは事故を未然に防ぐための方法の一つであると考えます。しかし、住宅や田畠がある場所で自転車専用ロードを造ろうとすると、多くのお金と時間が必要となります。

自転車は道路交通法では、軽車両の扱いとなります。事故が起こらないようにするには、一人ひとりが前後左右に気を配り、交通ルールを守り、安全運転を心がけることが重要です。

「相手を気遣い、相手の立場になつて考えて行動すること」で、自転車と歩行者の接触事故も起これにくくなると思いますので、ぜひ実行してみてください。

【議員】私たちの楊津小学校は子どもの数が少ないので、交通機関で容易に出かけることができません。社会でたくさん調べたり、理科で色々観察したり、がんばって勉強しています。そんな私たちがさらに視野を広く持ち、多くの場で学習できること、各校が、見学や学習には無理でも、町内の小中学校で必要な時に利用できるバスがあればいいと思います。

【教育部長】楊津小学校は子どもたちの学習が広く確かなものになるために、いつでも利用できる校外学習用のバスがほしい <楊津小学校>

んが日頃から学習の一環として、校外から多くの講師を招いたり、展示物を借りるなどの本物を通じての体験により、一生懸命学習されていることを伺っています。

楊津小校区では、路線バスの本数が多くないことや料金が割高になることなどの現状は承知していますが、バスの購入や維持管理には、多額の費用がかかるため、町で運行することは難しいです。また、業者にバスを頼むことやバス利用の補助についても同様に、高額となります。

しかし、皆さんの学習意欲を受けとめ、体験学習の機会を一回でも多くつくれるよう、例えば幼稚園バスの空き時間の利用など校外活動ができる工夫をするなど、町としても支援を続けていきたく思います。



こまつりょうた 小松涼太議員